

'00

# 第九

のべおか第九だより（第275号）  
2000年10月15日（月）

発行 のべおか「第九」を歌う会  
事務局（延岡総合文化センター内）

882-0852 延岡市東浜砂町611番地2  
電話 (0982) 2 2 - 1 8 5 5

| 今日の練習  | 前回の練習 | 会員数  | 出席数  | 出席率   | 自己採点  |
|--|-------|------|------|-------|-------|
| 指揮者の指導を重点的に<br><br>A (237～330小節) p.9～17<br>B (411～654小節) p.20～33<br>- C (655～762小節) p.34～43<br>- D (795～920小節) p.46～58<br><br>12月9日まであと <b>55日</b> | ソプラノ  | 56人  | 37人  | 66.1% | 63.7点 |
|  | アルト   | 94人  | 69人  | 73.4% | 60.9点 |
|  | テノール  | 26人  | 22人  | 84.6% | 58.1点 |
|  | バス    | 30人  | 22人  | 73.3% | 60.9点 |
|  | 合計    | 206人 | 150人 | 72.8% | 61.6点 |



## @現田先生の指導（10月9日）

その付近の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス  
その部分の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス  
...お話

（ほかのパートの注意でも関連があります。全部読んでください。）

237 【お話】 凄いですね、僕、びっくりしたんですけど、今年の第九の発注があるならわかるんですけど、来年の第九まで発注していただきまして...（笑）。一体どういうふうになっているのかなと最初不思議だったんですけど。昨日、大分でね練習してきましたけど、すてきなみなさんで。この中には宮崎で僕と一緒に歌われた方もいらっしゃるからお聞きしたんですけど、最近、僕、こちらでいろいろ演奏する機会が少しずつ多くなってきて、ゴルフも好きなんですけど、こっち来るといいコースがたくさんあるので、そっちのほうも楽しみのひとつなんですけど...それにも増してこの「第九」っていうね、この曲でいろんな方とお会いできるというのは非常に楽しみです。よろしく願います。

238 【Freu-de!~】 いいね、本番の会場で練習できるなんて、ホントに恵まれてますね。あのね、日本人がこれやるときいつも気を付けなければいけないことなんですけど、“ber”と“wer”が一緒になっちゃうんですね。あと“er”と“el”も一緒なんです。



- 240 【Freu-de!】 ドイツ語というのはイタリア語ももちろんそうですが、音符の頭には母音がなければなりません。だから「...おいで」このオイデが頭にあって、このオイデより前にフロ。だからもうちょっと先にフロ...。男声はたくさん巻ける人がいると思いますが、たくさん舌を巻いて。.....自分の顎がね、ヨーヨーになったつもりでね。たくさん下まで伸ばしてください。...いい感じだけど、音程まで“フロ~”ってしないで(笑)。音程は上から見ておいて、顎だけで“Freu-de!”



...“F”というのは息をたくさん使わなくちゃいけない音だから...もうちょっと、“オイ”っていう母音をしっかり

...そして“エ”という音は発音記号で書くと“e”を逆にしたような字を書くやつなんですね。“オ”の口した“エ”なんですけど、中学生なんか宿題たくさん出されたときに「エ(オ)~!」って(笑)。ふてくされたような“エ(オ)”なんです

...“フロ”の“オ”の口のままだ“エ”

...もう少し“フロ”は巻けます? 3回ぐらい巻いても全体としてはそう聞こえないんです。お一人お一人が巻きすぎなぐらい巻きましょう。女性の方ね、巻けない人がいらっしやるのを僕知っているんですね。なぜか知らないんですけど、日本人の男性は7~8割巻けるそうなんですけど、女性は3割ぐらいの方しか巻けないんだそうです

...できない方は腰でも振っついて(笑)。体の中の躍動感を表す言葉が“Freu-de”ですから。

.....そうそう、ソロの“Freu-de”に覆い被さるぐらいに、しっかり応えましょうね。

- 257 【Dei-ne Zau-ber】 “Dei”はさっき言った“e”の逆になった発音ですから、少し暗めに。“Zauber”できたら、シッポ巻いてください。



- 258 【bin-den wie-der,】 “ビンデン” “ヴィーデル”と一番ニュアンスを区別しなければいけないところですから、“w”のときには必ず下唇を上歯でかんで。今回は古い形の発音、ですから“r”の語尾は全部イタリア式に巻いて終わってください。

.....“den”の8分音符2つは“デン”って歌ってたのではわからないんです。“h”でもう一回発音するようなつもりで。

- 260 【streng ge-teilt; al-】 “streng”厳しく。“al”の“l”も暗い“レ”です。

- 262 【wer-den Brü-der,】 “wer”、あんまり“ビール”にならないで。“ベールデン”。“エ”の口で“イ”と言うようなつもりで“イ”と思わないで。

264 【Fü-lgel weilt.】 “ weiltポン ”ですよ。（ “ ポン ”と言えるぐらい空ける）。“ ポン ”と言えるぐらいの位置に “ t ”をください。“ t ”を拍の頭にしないで。



284 【Ja,】 ... “ , ”をしっかりと歌うつもりで。バスが一拍先行しているということは、待ちきれなくなって入ってきて欲しいんです。そうだ、そうだ、“ Ja, ”と。

285 【wer auch nur ~】 プレスしないでつないでくれるのは非常に嬉しいんだけど、それによって今はモヤモヤしている。8分音符をもう少しお腹でしっかり息を使って、さっき “ h ”を入れる（258小節）と言いましたけど、8分音符をはっきりいきましょう。

285 【wer auch nur】 “ Ja ”と “ wer ”の間に “ , ”がありますよね。それはゴミじゃないんです。はっきり “ Ja, wer auch... ”。“ Ja, ”と “ wer ”の両方はっきり。

290 【konnt, der steh-le】 “ steh-le ”も聞き取りづらいから、“ st ”をはっきり。南にいくとね、“ st ”が “ ス ”とかいう聞こえ方する場合がありますけど、はっきり、“ シュ... ”



292 【die-sem Bund.】 ここもそうよ。“ Bundポン ”。（264小節と同じ切り方）。“ Bundポン ”って言ってください。本番には “ ポン ”なんて言えないから（笑）。ポンと言うのが目的じゃないんですよ（笑）。ポンと言えるようなタイミングで “ d ”を言ってください...そうそう。“ d ”は母音がないから、そんなに聞こえるはずはないんです。それはかまわないから、“ Bundポン ”。だからどこらへんになるのかな、手が叩く直前に “ d ”があるように。



313 【Küs-se gap sie】 ...8分音符の方は意識して。“ キュー ”じゃない、“ キュフ... ”...そう、今のすごくわかる。それぐらい歌ってちょうどいいんです。

313 【Küs-se gap sie ~】 ここ8分音符がたくさん出てくるから、もうちょっとお腹を使わないとね。一人で歌うと少しでも充分聞こえるんだけど、コーラスはいい所は拡大するんだけど、悪いところも

拡大するんです。だからひとりひとりが正しい方向にむいていけば、正しい方向にもっともっとむいていくんだけど、8分音符をみんながさっきみたいに歌うと、音符がウネウネしちゃうから。ベートーベンというのはもうちょっと基本的には角張っているんです。ドゥアというのは“固い”という意味ね。モールというのはラテン語で“柔らかい”という意味ね。だからドゥアの曲というのは基本的には固くないといけません。これがもしモールだったら、もっと柔らかくてもいいんだけど、もうちょっと8分音符を角をはっきりと。



- 313 【Küs-se gap sie】人間てのはね、結構第一印象が大事なのね。第一印象でいい印象を持つと、たいがい世の中うまくいって結婚してしまったり間違いおかしてしまったりするんですけど（笑）。今ね、第一印象が悪い。最初の“Küs-se”、これはキスですからね。だからちゃんと口はね、キスしたときのような、最近した人も昔した人も（笑）  
 ...単数形だと“クス”なんですね。でも複数形になると間に“y”がはいて、“キュ”そう雑巾をキュって絞るあの“キュ”。もうちょっと口をとがらせたぶんだけ母音に勢いをつけて  
 ...“K”をもうちょっと。



- 321 【und der ~】2分音符に“・”が付いていますね。ベートーベンとかモーツァルトの“・”というのはいろんな解釈があったのですが、今だいたい統一されてきているんですが、まず短くというより“はっきり”ということです。マルカートというのは“はっきり”ということなんですけど、前の音からもはっきり区別するし、後ろの音ともはっきり区別する。はっきり区別するためには、ちょっと短くしないとどうしようもないわけです。だからスタッカートは短いという印象があるんですけど、もともと決して短くという意味ではなくて、もうちょっとはっきりするという事です。だから一番大事なのは母音の長さが短すぎないこと。今はそれをすごく守ってくださっているんですが、ここの会場はよく響きますし。もうひとつ大事なのは例えば2分音符がこれくらいだとして、母音の長さが3/4くらいになったとします。そしたら1拍半の母音の両端を子音が囲っていないといけません。“und”は最後は“t”、“デール”（これもあんまり“イー”ってしすぎないで）、...で一番大事なのは“Gott”。そして大事なのは母音がまっすぐ進むということ、母音の中がゆれないで。でね、音楽家、演奏家は音の頭に責任持つ人は多いんですよ。音の頭というのははっきりわかりますから。でも音の終わりに責任を持てる音楽家というのは少ないんです。「2拍かな...」とだいたい切っちゃったりしています。ほとんどの場合が音の終わりを意識していない。器楽の場合は多いんです。でも歌の場合は音の終わりってのは息の終わりになるんですから、まして息の終わりは子音で囲まなくちゃならないから、音の終わりってのはものすごく責任を持たなくてはならない。伸びている母音を子音で切らなくてははいけません  
 ...ね、直前までしっかり母音伸びていて、子音で切ってください。これができてはじめて一つの音符です。ここなんかは簡単なようだけど、一番難しいんです。

322 【Che-rub】 ... “ b ” 言い辛いんです。でも “ 天使（ケルビン） ” のためにはとっても大事な “ プ ” なのね。



323 【steht vor】 “ st...” がものすごく弱い。とにかく飛びづらい音で息もたくさん使っちゃうからね、長い流れの中、とくにソプラノあたりは難しいんだけど、こういうところはプレスなんかは無尽蔵にできるわけだから。

..... “ ...イト ” ってぐらいにしか聞こえない。 “ シュティー...”

...あんまりフライングしすぎるのは反則だよ。（手を下ろしたところが） “ イート...” これに（手を振り下ろす最中に） “ シュター ”。母音がどこにあるのかを自分の中で考えて、自分の歌っているなかでどこからが母音だということを意識してください

...あわない！ “ シュ ” っるのが速すぎるんだ。もっとね “ シュ ” って時間をしっかり

...もうちょっとスピード感を持って。スピード感というのはね、あのね...加速感。点の前だけを速く。ずっと速いと新幹線みたい、いったい何が通ったんだか（笑）止まらぬ速さにはならないで、ここ（点）はしっかり見て “ シュティー ”

... “ ティー ” が弱いよ

... “ vor ” は巻ける人は巻いて。

326 【Gott,】 “ Gott ” もっとはっきり。



330 【Gott,】 “ Gott ” はもっと角があるように。僕の名前は “ ゲンダ ” です。 “ ンゲンダ（鼻濁音） ” ではないんです。

411 【Lau-fet, ~】 ちょっと譜面、見てくださる？ なんでもないようなんですけど、8分休符があるところとないところがあるんですね。だから “ Lau-fet, ”、ここも2重母音です。だから休符のあるところは言葉の処理をしっかりと。もうちょっと “ t ” が聞こえてほしいな。 “ Held zum ”（417小節）もそう。もうちょっと早めにまとめて、 “ Held zum Sie-gen, ” というのは “ 勝利のために ” ということですから、ちょっとアクセント気味に。

411 【Lau-fet,】 “ Lau-fet ” の “ L ” は長いだから、巻きちゃダメですよ。 “ Brü-der, ”、 “ eu-re ” の “ r ” とちょっと区別して発音してください。

417 【Held zum\_】（休符のあるところは言葉の処理をしっかりと。：411小節のように）もうちょっと早めにまとめて、 “ Held zum Sie-gen, ” というのは “ 勝利のために ” ということですから、ちょっとアクセント気味に。



424 【freu-dig,】 とにかくこの曲で“fr”で始まる言葉はたくさん出てきますね。この曲自体が“an die freude”だし。2重母音も難しいんですけど、“fr”はもうちょっと勢いを持って子音をちゃんと伸ばしましょう。2重母音“eu”、もっとしっかり  
...みなさん、どっちかになっている。今、母音をしっかりやろうとすると“fr”がなくなっちゃうし。“fr”をたくさん言って、なおかつ“eu”。

430 【Sie--】 もっと“Sie”はアクセント。



431 【--gen!】

.....語尾の“n”は口を閉じちゃダメです。女性もこれはたくさん出てきますから、“woh-nen,”なども最後は唇が閉じて終わらないように。このわずかな隙間で音の響きがすごく決まるんです。僕らはみんなまとめてしまって、“ワ・ヲ・ン”の“ン”になってしまいますけど、彼らにとっては“m”か“n”は非常に大きな違いらしいから、最後の音は“エ”の口していて舌だけ上口蓋に付けて、“n”。もちろん唇は多少閉じて小さくはなるんですけど、意識としては“エ”のまま舌を上付けて“n”。“Sie”は“ズィ”です。“ジ”じゃなくて。“Sie-gen,” “勝利”ということね

...そうそう、これだけで...今、子音は良かったんです。でも“n”が少々早すぎるから、もうちょっとだけ。最後は4分音符でしたね、そこ  
...そうそう、これだけで全然響きが違ってくる。



543 【Freu-de,】 これもなんというかな、みんながのしかかって来なければいけない。ここまでオケは大変なんです。そして519小節あたりで少し安心するから、そこにみなさんがちょうどタイタニックの大きな波が来たときみたいにのしかかってくるみたいな形で。一番大事な母音がオン・ザ・ビートになること。ということは子音は前に出ていることなのです。

.....今ね、“Freu-”に集中してるのね。でもその次になってない。この言葉全体、“Freu-de, (喜び)”と“schö-ner Got-ter-fun-ken, (美しい神々の火花)”だからいろんなイメージをしっかりとクリアにして入ってください。

.....“Freu-de,”という言葉は2重母音だからイメージとして“フロイ-デ”って戻るんですよ。でも音楽の流れってのは戻っちゃいけないの。一步先に音を投げるみたいに。せっかく波が寄せたのに、それが引いてる感じがするから、その先まで波が進まなければいけない。



.....ダメダメ、もっとね、歌い出しそうになってないと。「来たな、来たな...」と。全然打ちそうになくバッテリーボックス立ってスコーン！って(笑)そういうのもカッコいいんだけど、やっぱり誰が見ても打ちそうな感じになってホームランを打って欲しいんだけどな。そのための予備(542小節)がものすごいでしょ。「来たなあ!」という感じ。

561 【bin-den ~】 4分音符と8分音符をもってらっしゃるパート(561小節:ソプラノ・テノール)(563小節:ソプラノアルト・テノール)は、8分音符の頭にあたかも子音があるように、もう1回しっかり歌ってください。そうしないとこれらの8分音符は死んじゃう。

566 【teilt; al- ~】 この一連の流れの肝はね、“al-le Men-schen wer-den Bru-der,”。だからここをプレスするしないじゃなくて“Bru-der,”に全部が集約できるようにしたい。

566 【teilt; al-】 “al-le”(バス以外)同じ音で動いているときに1歩1歩進んでいる感じがなければいけない。2度目の音はあえて言えばcresc.だし、cresc.でない場合もたくさんあるんだけど、なんとなく前進していること。この曲のテーゼだからね。テンポ的な前進じゃないですよ。テンポはオーケストラより速くできないから、それにうまく乗りながら、中の勢いが前進しているように。

595 【Seid um-】 ...ここが一番大事なところは“Seid um-schlun-gen,”。“um-”というのは何かを囲むことなんですね。



598 【o-nen!】 “n!”。“m”って閉じない。今日はこれに気を付けて。語尾の“n”のときに口が開いているかどうか。

603 【Seid um- ~】 女性の“Seid um-”はもっと聖母の慈愛みたいなものが欲しいんです。男性のほうは相手と同じレベルでみているようなものです。女性の場合は自分のほうが高い場所において「諸人よ...」と言ってあげないといけない。男性が言うのは「抱(いだ)き合おうぜ兄弟よ!」と同じ人間対人間で言っているんです。女性の場合は少し柔らかさを持って。だからみなさん(女性)のはfがひとつなんです。男性のほう(596小節)はff(2つ)持ってるんです。

- 626 【woh-nen.】 “ n ” 大丈夫？（口を閉じない）これは意識すればなんでもないことなんだから。これだけで、このわずかな口の開きで響いているんですよ。その響き、残りが大事なんです。



- 626 【お話】それが“アーメン”などに繋がるんです。あのときも神との対話で口の開きを残さなければいけない。“ン”と口を閉じることは絶対ありえないんですね。息の流れ、日本でいうと言霊とかいい言葉がありますけど、魂の流れがあって、アーメン！って切らないんです。バッハの有名なカンタータがありますね、あれも最後はアーメンですが、ドイツ語はそういうの多いんですが、必ず最後は口を閉じて会話を切らずに“ n ”って残してください。

- 631 【Ihr\_ stürzt~】みなさんの“ Ihr\_ ”はとってもきれいです。そしたら僕が3拍目を少し背中押ししますから、そしたら“ stürzt ”。“あなたたちは跪きますか？”ということです。  
.....オーケストラがまず歌を歌いますから、それを感じては行って。“ぬかづきますか、ひざまづきますか？”と神父さんに聞かれたような気持ちで。おいてめえひまざづくかい！って（早口で）江戸っ子になんないで  
... “ r ”が弱いね。  
.....3拍目のとき“ Ihr\_ ”ってまな板の鯉みたいになってる。じゃなくてこっち（下）向き。“イ〜ル！”って上げないで  
...詰問口調にならないように“ Mil-li-o-nen?”の疑問符まで歌ってください。楽譜に書いてあることは全部歌わないといけないんです。“,”は歌わなければいけないし、“?”も当然歌わなければいけない。



- 631 【Ihr\_ stürzt】まず“ Ihr\_ ”とcresc.の山の頂点は2拍目の裏ぐらいになるのかな、そして“ stürzt ”が速すぎる  
... “ Ihr\_ ”の“ r ”で拍を感じてほしいんです  
...3拍目のときにまだcresc.が残っているようです。3拍目はdimです。  
..... “ stürzt ”最後の“ t ”は発音しなくていいという人がいらっしゃいますし、実際そうなんですけど、テンポ遅いですから5連符みたいに“トトトト”。最後の“ t ”に“ウ”はいらないんですよ。そこで子音がたくさんあるでしょ、ね。カタカナで考えてもかまわないから。こんなにたくさん言葉あるのに、母音は“ ü ”だけなんです。あと全部子音なんです。子音はとにかく5つ必要です。
- 632 【nie-der, ~】はいはい。今そこ“ -der, ”の直後のプレス、世界を吸い込みそうなプレスでした  
... “ der, ”の音量から“ Mil- ”が始まってください



... “nie” よりも “der,” は出ちゃいけないの。日本語じゃ出るって歌ってるようだけど（笑）。その “der,” と同じようなところから “Mil-”

637 【Schöpfer, ~】 “創造主を予感しますか？”と歌ったら、ここでオーケストラが“世界よ！”と歌います。ここで“Welt!”と飛び出しやすいんですが、オーケストラの音をちゃんと聞いてから“Welt!”を歌ってください。

639 【Such' ihn】 喉の奥をしっかりと鳴らして。

646 【woh-nen,】 これも“n,”よ。口を開いたそのまま。



650 【ü--ber】 なぜかここに来ると、（ソプラノ・アルト）みんな萎縮しちゃんだよね（笑）。それはここ一番難しいところだということわかります。昨日も大分で練習したんですけど、いい方法を発見したんです。前（646小節）は“woh-nen,”ってfで終わってて、その次にオーケストラの間奏がありますね。これを聞かないこと（笑）。この部分がもしね、上から音が来ていたら、「この音だな」と入ることができる。それが“ソ・シ・ド・ミ・ファ...”「わぁこの高さ！」（笑）ってなるから、そうなっちゃう（笑）。当然だけど音を追っちゃう。せっかくみなさん646小節では強く歌ってるんだから、そのまま知らん顔して「pで歌うのね」って“ü--ber Ster--nen”って歌えばなんでもないこと

...じゃ（ソプラノ）Bで

...高いBに決まってるじゃない。出る、出る。pにこだわらなくていい

...（アルトのみなさん）Gで

...これができたら音を戻しましょう。いろんなところの合唱指導していて、ここだけ練習すればできるのね。でも今大事なことは、音程というのは相対的なことですから、自分が高いところにいれば、さっきみたいに“シ・ソ・ミ・ド・シ...”って下がれば、その（ソプラノ）Gは全然高くはないです。その先にBを出しているから

...そういうふうに考えてこのGというのは高くないんだと。だから直前の間奏を聞かないこと。アルトにしてもそこ（646小節）の音、半音違いますけど、前の音とほとんど同じ音を歌っているわけですから、それと関連づけて和音の中で音をとることです

...（アルト）SとAは近いようで遠いんですね。それを高く高く感じることに、前の和音を上から感じることになどでたくさん練習してください。



730 【Ihr stürzt ~】 リズム出すことはとっても大事なんだけど、一番気を付けてもらわないといけないことは言葉の固まりが“Ihr stürzt” “nie--der,” “Mil--li--o--nen?”. 要するに小節の中がひとかたまりなんです。“Ihr” “stürzt nie-” “der, Mil--li-”じゃ、なんの言葉を言っているかわからない

んです。だからイメージはしっかり “Ihr stürzt” “nie-der,” “Mil-li-o-nen?” がひとかたまりになるように意識してください。

..... “stürzt” が速いときは、語尾の “t” はとっていいことになっています。ただ問題は “t” を言うだけの時間がそこに存在しないとイケないということです。だから “ツ” まで言って、そこに “t” が本来あるべき時間だけは作らなければいけません

... “Ihr” ひっぱりすぎ。もっと拍を感じて、拍で巻いて。極端にいうと、これ2拍子じゃないです。1拍子です。2拍子で考えると、タイミング的に遅れちゃうんです

...そういう流れがあって、今度はそこに「おののき」がある。だから伸びない。怖くて恐れおののいている分だけ用心深く歌う。そうすると2分音符ぐらいでちょうどよくなります。クラリネットが “ントトトト...” とドキドキするように鳴らしていますから、この心臓の鼓動を感じながら...だめだめ、ちょっとのんきです(笑)。音符の終わりにもっと責任を持って、しっかり2分音符をつくりましょう。もっとおびえてほしい

...大事なことは母音は子音で切るんです

...最終的には自分の意志ではなくて、なにか怖いものがあるってその恐れのために切るという感じ。切らざるを得ない、息も絶え絶えという感じで切ってください。

- 745 【zelt! Brü】 (730小節から) だんだん人が多くなってきたから、自分の見方が多くなって大丈夫、大丈夫。そして “Bru-der!” ともってきてほしい。 “Bru-der!” で一番大事なのは “r!” です。巻くこと。



- 758 【ein\_】そこはチイスでうたってください。だからカッコでナチュラルがついたりするんだと思いますが、ナチュラルはいりません。だから前の音符の高さと変わらずに。

- 762 【-nen.】 “n.” (口を閉じない)。“ボ～オーネェ～ン” ってなんか忘年会のような感じ(笑)。季節柄それもいいかもしれないけど、今の皆さんのはどうしても年忘れってのが見えるな。

- 795 【Dei-ne Zauber,】みなさんがココを歌い出すとき、“4・3・2・1”って合図出しますから...これ意外とね、聞き惚れちゃうのよ。ソリストの歌を「いいわね、いいわね」って。..... “Dei-ne” は暗いんですね。“あなたの魔力が、あなたの魔力が”。そして “Dei-ne” が短すぎないように。“Dei-ne Zauber,” がひとかたまり。



- 797 【bin-den\_~】 “b” と “w” の区別。それから “n” と “r” と。この違いはハッキリと。必ず “b” のときは下唇をかんでください。

801 【was die Mo-de】 “世の中を厳しく隔てたものを”。

802 【streng\_】 “streng\_” ここがもうちょっと厳しくないといけない。

806 【Al-le】 この前にオーケストラがコーラスの部分をリフるのね。オーケストラの響きがそういうふうには聞こえないといけない。オーケストラのメロディにここからの言葉が乗って聞こえないといけない。そしてここはのしかかってこないといけない。だからここはわざと半拍早くはいっているんですから。だからみんな飛び込んできていいんです。大事な言葉は次の“Men-schen, ”。



812 【sanf-ter】 今、非常にきれいなんだけどね、もうちょっとハッキリ“sanf-ter”って聞こえるといいな。そしてひとりひとりで歌うと変かもしれないけど、“ハハハハ...”って歌ってください...おなかが使えていない。ソプラノの仕事は“ザーハハハハ...”ここです...それぐらい言うておかしくないんです。それで理想なのは、今、音の階段がハッキリ見えしました。そのハッキリ見えた階段に雪か羽毛を振りかけてほしい。下に階段はあるんだけど、表面は羽毛なんかで埋もれているような。そしたらほかのパートは和音をつける甲斐があるんです。

812 【sanf-ter】 だから僕らが一番お客さんに聞かせたいメロディ（ソプラノ）を聞かないと、お客さんの耳はそっちいかないんです。たとえば、ここ（オケに）オーボエがいたら、みんながオーボエを見ることだけで、目ってのはスポットライトみたいな役割も果たすわけね。「アッ！」って言ってあっち見たら、みんな見るでしょ。それと同じで、みんながそっちを聞いているというふうに向いていれば、お客さんは絶対そっち向くんです。必ず上のソプラノを聴いていてください。

813 【Flü-gel weit.\_】 “Flu”はホントは喉の奥にあってほしい母音なんですね。でもそれを歌でやると非常に難しいから、ほかのパートの方がそのイメージを。“この優しき羽のもとに”。そしてちょっとだけ“Fl”を出してもらえますか。



827 【Al-le】 今ね、休暇の過ごし方が悪いんです（笑）。もう言いたくて言いたくてしょうがなくなって“Al-le”と。  
.....今、最初やった倍ぐらいの音量が出てるんです。飛び出しすぎるのは問題があるんですけど、でも今ぐらいの爆発力がほしい。だから間奏の聴き方をうまくしてください。

832 【Men-schen!】 “n!”（口を閉じない。）

855 【Seid um-schlungen,】 イメージを明快に持ってください。“抱きあえ、諸人よ。この口づけを全世界へ。”...この言葉の中で一番大事なところは“um-”なんです。テンポが速いから“トゥム”に

なって構わないんだけど、気持ち的にはこの中で一番大事な言葉は“ 困む ”ということです  
...一番いいのはね、歩きながらやるのがいいんです。

855 【お話】シェークスピアのマクベスの中で、「マクベス、あなたは森が動かない限りおまえの王座は安泰だ」というところがあるんですね。でも森が動くんですよ。パーナムの森、兵隊がみんな木の枝を持って動いてくるわけです。そしてマクベスは殺されちゃうんですけど、その森が動くがごとく、日本にも“ 山が動く ”とかいう言葉があるから、（でも今、山が動く地震かな？と思っちゃう（笑）。）良い意味で山が動くようにここを歌ってください。動きながら歌うというのはとっても良いことですから。

.....で、ここも同じです。オーケストラが同じメロディをあらかじめ奏でてくれる。

906 【Göt--ter-】 “ Göt--ter- ” はもうちょっと口を縦。あんまりここは無理してウムラウト出す必要はないですから。“ G ” の角張った感じはほしい。

909 【schö-ner】 “ シェー ” これもちょっと甘い。

916 【-ter aus E-】 “ aus ” まで言い切って、“ E-ly-si-um! (楽園)” という。これは“ ウ ” の口して“ イ ”。そして“ l ” は喉の奥で言わないといけなから。“ E-ly-si-um!” っていうと、僕らにはあんまり...こころへんで言うとなんでしょね、宮崎のシーガイアでもなんでもいいですから（笑）。そう思いながら、楽園というイメージをしっかり持って“ E-ly-si-um!” と言ってください。

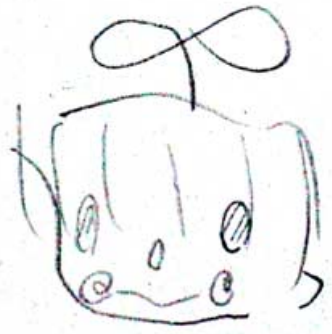
918 【Freu-de, schö--ner】 “ ...オイデ、シェー...” と（“フロ”は先にはいると）覚えておいて。これを忘れずに12月にいい第九をしましょう。どうもお疲れさまでした。

前回の“ ひとこと ”

ユニークな先生！（ちゃん）

なんと歌いやすい人なんでしょう  
うか。スーッと入りやすい。素晴らしい指揮者に対面でき、本当に嬉しいですね。私も今まで頑張ってきて良かったとつくづく思いました。体と言葉とまず表現力がとても解りやすいですね。今年初めての方には特に良かったですね。  
(日之影のシーちゃん)

現田先生をおむかえしての練習、とってもよかったです。今日  
はいい声が出てなかったです。



(てんてこまい アープー)

ヤマハのリハーサルなどで1日

忙しく、おそくなりました。すみ  
ません。でも声はよく出るよう  
になりました。(ピカチューのママ)  
忙しくて、忙しくて。(ナオ  
ちゃん)

現田先生の指導、わかりやす  
かった。声ができるようになった。



(アユネエ)

今日はとっても楽しみにして来  
ました。やはり現田先生のとらえ  
方もあるなぁと感心しました。あ  
と2か月でしっかり習ったところ  
をおぼえたいと思います。皆さ  
ん、頑張りましょう。

大変理解しやすいご指導でし  
た。(あゆっこ)

現田先生の指導、わかりやす  
くてすてきでした。(日向キルトマ  
マ)

今日は初めての現田先生の練習  
でした。しかしお腹の調子が...で  
もなぜか声は出ました。これから  
は体調をととのえてきます。



(チョコ)

とてもわかりやすい。新たなア  
プローチの現田先生の指導でし  
た。次回も楽しみです。

現田先生の指導についつい乗せ  
られて気持ちよく歌えました。み  
なさんの速さに早くついていける  
よう、練習を頑張ります。(わん  
ころ)

現田先生のご指導でみんなで合わせた初めての練習でした。なんだか自分はよく歌えませんでした。感動しました。

現田先生の解りやすいご指導に、中だるみぎみの第九にも元気が出たのではないのでしょうか。

(S.N.)

今日の練習は大変勉強になりました。納得いきながら一言一言かみしめながら歌いました。(m)

現田先生のご指導、とても新鮮で、とりわけ発音に関しては原点に還った気がしました。大変リラックスした中にすばらしい指導をしていただき、ありがとうございました。

現田先生のご指導はとても楽しく、こんな練習っていつも来てくださったらと夢みたいな望みを持っています。(夢子)

現田先生のご指導、素晴らしく、とってもよくわかりやすく、またまた新鮮な気持ちで歌うことができました。(ブンちゃん)

現田先生の第九、またひと味違って新鮮でした。今日のように出席者が多いと心強いです。残された練習日を休まないように頑張りましょう。(メダカのおばちゃん)

現田先生のご指導は、本当にわかりやすく楽しかったです。あのこわい間奏も上からひいてくださったとき、ふっと思いがわかりました。(シャローム)

今日のはじめての現田先生との練習でした。なかなか声が出なかったり、思ったよりテンポが速くて大変だったけど、がんばりました。(時雨夢有)

とても素直に声が出せました。素晴らしい指導に感激です。言葉の大事さ、子音をはっきり最後まで出すことなど、原点にかえりました。(櫻子)

おもしろかった。(ほそみ)

初めての大ホールのステージで歌えて感激でした。とっても気持ちがいいですね。

現田先生の指導はとてもすばら

しかったです。(M.Yoshimoto)

本当に久しぶりの出席です。みなさんと一緒に歌うのが申し訳ない思いで来ました。いよいよ後半戦です。がんばります。(はるみ)

久しぶりに練習に来ました。いよいよチケット売りも始まりまし、はりきっていこうと思いません。現田先生、ステキですね。見とれてしまいました。(Run)

山下先生はパッション。現田先生はソフトという感じでした。本番が楽しみです。個人的には練習不足で音が下がり気味。頭を使わなすぎ(ただ歌うということです。)反省の余地が大いにありという練習でした。(anne)

今日の先生の細かい指導、とてもわかりやすくおもしろかったです。私ももうすぐ文化祭です。またなかなか来られないかもしれませんが、本番までもうすぐ!!がんばります。



(ぱびこ)

現田先生の素敵なわかりやすい指導のもとに素晴らしい練習でした。(チーママ)

現田先生のご指導に、ポーネンがうたえました。今日の歌い方を忘れずに繰り返し練習をしていこうと思います。

発声もとても大切でしょうが、ドイツ語の意味と発音との関係... nの口を閉じないこと。また大きく全体をとらえての合唱指導点もう感激の一言です。(ななしのゴンベ!)

新しい出会いが美しい出会いになるように、精一杯かなでました。(kuroji)

現田先生のご指導は楽しさの中に緊張感があり、身の引き締まる気がしました。

大変素晴らしいご指導に興奮し

ました。語尾がnで終わる口の開け方、納得しました。

とっても楽しい練習で、あっといふ間の2時間でした。

現田先生のわかりやすい指導で、とても気持ちよく歌うことができました。

現田先生の指導がわかりやすく時間があつという間に過ぎていきました。本番が楽しみです。

現田先生って、とてもすてきでした。これからの練習も楽しくなれそう。(ねずみおばさん)

今年は楽しい第九になれそう。(紺女：うずめ)

現田先生による迫力のあるご指導に、今日は久しぶりにハッスルしてよかった。楽しかったです。(アツちゃん)

現田先生のソフトなお人柄とおだやかなご指導に感激しました。奥様の顔がちらつきました。楽しみです。(ピアチェヴォーレ)

現田先生ってなんてダンディでかっこいいのかしら。今年も本当に参加して良かった。(アジアンティー)

現田先生すてきでしたね。すばらしい先生方に出会えて幸せです。

現田先生、すばらしいです。明るくてわかりやすく、自分の力以上のものを引き出してくださるようなご指導でした。(ユーマン)

想像以上にステキでした。現田先生、次回お会いできるのが楽しみです。(J.T)

素晴らしいご指導、とても楽しゅうございました。現田先生、とても魅力的でした。有り難うございました。

体操、発声、そして心地よい緊張。(現田先生、カッコイイ!)で声がよく出ました。母音・子音を大切にしながら歌えたらいいなあ。(ソムリエ)

とてもイメージの作りやすい話し方で、気持ちよくできて高い音も出るようになった気がします。(R)

現田先生のご指導、山下先生と

はまた違って暮れの第九が楽しみです。後半頑張って練習に参加したいです。(やな)

現田先生の初めてのレッスン、とてもソフトな先生で楽しみです。(Emily)

母音は子音で切る。

現田先生を身近に覚えた楽しい練習でした。(Y.N.)

現田先生のご指導はとてもわかりやすく、発音も理解しやすい。(ヨッチン)

現田先生もすてきですね。毎年贅沢な気分を味あわせていただいています。感謝!!(ドウリンク)

現田先生、とってもチャーミング!(おくまちゃん)

今日は“!”マークがたくさん飛び交っていました。頭の中が大変です。そしていかに自分がさぼってうたっていたか、自覚させられました。巻き舌、がんばります。(究極凡人)

素晴らしいご指導、歌詞の意味がよく分かりました。気持ちを出すことが出来た。嬉しい。

現田先生のとてもわかりやすい指導をしていただき、また初心にかえり、頑張ります。

素晴らしい現田先生の指導、楽しく歌うことができました。残り少ない練習、頑張ります。

現田先生のすばらしい指導、とても解りやすく、一生懸命になっていました。とても楽しかったです。

現田先生のすばらしい解りやすいご指導で、楽しく歌えました。

現田先生のご指導がとてもわかりやすく上手に出来たと思いません。教えをよく守って練習します。(Y.Y.)

まだまだ満足出来ない。それとも満足しない?僕は後者のほうです。ハングリー精神を持つ!

(レッドマン)

指揮者、現田先生は本当に要点をやさしく的確に教えてくれました。すばらしい!

素晴らしい指導でした。

初めて現田先生とお会いしました。やさしそうな方ですね。今までとはまた違った第九になりそうです。子音の指摘が多かったなあ。

現田先生の指導は手振り身振りでわかりやすかった。ドイツ語日本語にわかりやすく表現してくださった。ありがとうございます。ダンケシェーン。(ヒーロー)

現田先生の指揮、歌いやすかったですね。自然派って感じです。(歌太郎)

メドフォードづかれしていて、何か気合いが入らない。

ジョギングのしすぎで、ひざ痛になりました。(ねこふんじゃった)

現田先生のイメージ豊かな具体的な指導は心地よかったです。若者の柔軟な心がいい。(す)

久しぶりに現田先生にお会いでき、宮崎での演奏会でのあの笑顔を思い出しました。本番ステージが楽しみです。(タマ)

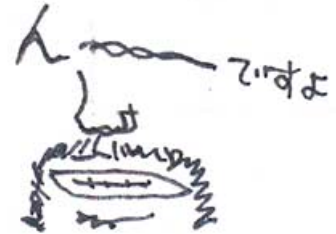
初めての現田先生の練習日。若々しくエネルギー感を感じた。そのパワーをもらって延岡第九も突っ走ろうぜ!(トシ)

今日のはりきって歌いました。(大)

みなさん!現田先生が指揮台に立たれる前に並び終えておきま

しょう。やる気を見せましょう。(K.C.)

最初画家かと思った現田先生。やはり芸術家の雰囲気満点でしたね。今までの先生方とは少しちがう感じがしました。



(黒鳥の湖)

指揮者指導が始まると、本番ももうすぐだなーと思います。現田先生、以前宮崎のときは厳しい感じがしましたが、すごくソフトな人ですね。本番が楽しみです。

(プータロウ)

現田先生のご指導は、とてもわかり易かったです。頑張ってみます。(HK)

現田先生の指導は非常にわかりやすかったです。歌詞の意味を知って歌えるように。(グリーンヒル)

すごく歌いやすかったです!(がみchan)

現田先生のご指導を不安と期待の入り交じった気持ちで迎えたが、ていねいでわかりやすいのに安心とやる気が持てた。(Q生)

現田先生の解りやすくしかも理論的な説明で、いくつもの難問が解消した。(T.Y.)

ハガキを出してもこの出席率の悪さ。やっぱりマンネリ化なのでしょうか。このままでは年末の第九はあぶないぞ!現田先生はともきさくで感じのよい指揮者です。今年はまだ違った第九になりあそうな予感がします。(ととろ)

## 編集後記

次回は10月28日(土) 19:00~21:30

前回の練習後から毎晩ビデオカメラに向かいました。久々の大量のテープおこしを4日連続。画像を埋め込まなければ紙面は少ないのかもしれませんが、その部分の指導のニュアンスをお伝えするにはどうしても必要かと、その場面の静止画像を入れています。みなさんに配布する第九だよりはザラ紙で、印刷の限界もあり、あまりきれいにできません。もしインターネットにアクセスできる団員の方は、私のページにアクセスしてください。 <http://www.coara.or.jp/~munenori/dai-9/dayori/dayori.html> 鮮明にご覧いただけると思っています。作業時間しめて8時間。ですからみなさん、前回の復習にはじゅうぶん時間かけてください。そうでもしていただかないと、私の仕事、“意味ないじゃ~ん!”って感じです。【munenori@horita.gr.jp】